

# 第 21 回 圧迫性脊髄症研究会

日時：令和 2 年 1 月 18 日 (土) 13:00 ~ 18:25

会場：AP 東京八重洲通り 11 階 K+L ルーム

東京都中央区京橋 1 丁目 10 番 7 号 KPP 八重洲ビル

Tel. : 03-6228-8109

参加費：3000 円



第 21 回 圧迫性脊髄症研究会

会長 筑田 博隆

共催 圧迫性脊髄症研究会

エーザイ株式会社

令和元年 12 月 吉日

## 第 21 回 圧迫性脊髄症研究会開催にあたって

令和元年も残すところ僅かとなりました。気ぜわしい年の瀬ですが、皆様におかれましてはご健勝のことと存じます。

さて、第 21 回圧迫性脊髄症研究会を、年頭 1 月 18 日に AP 東京にて開催させていただきます。今回のテーマは、「failure and recovery 一再手術からの検討」です。今回は、再手術関連を中心に全国から計 26 演題を応募いただきました。貴重な経験をご発表くださる先生方に、心より感謝申し上げます。どの演題も、「いったいどうなるのだろう…」とこちらが心配になるようなタイトルで、目が離せません。予想に違い治療がうまくいかなかった例に対し、どのようにリカバリーしたのか、そもそも最初にどうすればよかったのかを、十分にディスカッションしたいと思います。また、特別講演では、榛名荘病院の清水敬親先生に「まだよくわかっていないこと」をテーマにお話いただきます。年のはじめに相応しい、目の前がパッとひらけるようなお話をうかがえるものと思います。どうぞお楽しみに。今回もたくさんの先生方にご参加いただき、真剣勝負の討論を通じ、よりよい診療につながるような研究会にしたいと思います。先生のお越しを心よりお待ちしております。

年末ご多忙の折ではございますが、どうぞご自愛のうえ良い年をお迎えください。

第 21 回圧迫性脊髄症研究会

会長 筑田 博隆

群馬大学整形外科・教授

演者・座長の先生へ

**発表時間**：1 演題当たり発表時間 6 分(まで)、討論 4 分、計 10 分。発表時間を厳守いただきまして、円滑な会の運営と実りある討論ができますようにご協力いただきたいと存じます。

**発表方法**：動画、音声が無い場合は **USB** の持参をお願い致します。動画・音声がある場合は作動の問題が生じることがありますので、各自 **PC** を持参をお願い致します。プロジェクターの接続コネクタは **D-sub15 pin** タイプですので、ご確認ください。又、**Mac 使用の場合は接続コネクタをお忘れないようにお願いします**。

情報交換会はいりません。

ご不明な点や問い合わせがありましたら下記へご連絡ください。

連絡先：群馬大学 整形外科内 第 21 回 圧迫性脊髄症研究会担当（飯塚陽一）

e-mail : [yoiizuka@gunma-u.ac.jp](mailto:yoiizuka@gunma-u.ac.jp)

〒371-8511 群馬県前橋市昭和町 3-39-15 TEL:027-220-8269 FAX:027-220-8270

## AP東京八重洲通り 11階 へのアクセス



### 所在地・電話番号

〒104-0031  
東京都中央区京橋1丁目10番7号  
KPP八重洲ビル7・11・12・13階  
Tel : 03-6228-8109  
Fax : 03-6228-9109

### 交通アクセス

#### JR各線をご利用の場合

「東京駅」八重洲中央口より徒歩6分

#### 東京メトロ銀座線をご利用の場合

「日本橋駅」徒歩約5分

「京橋駅」徒歩約4分

#### 都営浅草線をご利用の場合

「宝町駅」徒歩約4分

# 第21回 圧迫性脊髄症研究会 プログラム

## 「failure and recovery ー再手術からの検討ー」

13:00 ～ 13:05 開会の辞 群馬大学 整形外科 教授 筑田 博隆

13:05 ～ 14:25 「再手術：腫瘍他」 8題

座長：榛名荘病院 群馬脊椎脊髄病センター 田内 徹、群馬大学 整形外科 高澤 英嗣

1. BKP 術後に頭尾側の隣接椎体骨折を生じ再手術に難渋した1例  
1) 清智会記念病院 整形外科、2) 杏林大学 整形外科 長谷川淳(はせがわあつし)<sup>1)2)</sup>、細金直文<sup>1)</sup>、木下欣明<sup>2)</sup>  
川野洋介<sup>1)</sup>、辻将明<sup>1)</sup>、大祢英昭<sup>1)</sup>、佐野秀仁<sup>1)</sup>、高橋雅人<sup>1)</sup>、長谷川雅一<sup>1)</sup>、市村正一<sup>1)</sup>
2. 悪性末梢神経鞘腫に対する右骨盤半截術後にL5-S1椎間の不安定性を呈した1例  
国際医療福祉大学医学部整形外科、国際医療福祉大学三田病院脊椎脊髄センター 船尾陽生(ふなおはるき)、磯貝宜広、高橋慶行、吉田宏大、笹生豊、西山誠、石井賢
3. 頚椎砂時計腫摘出後に遅発性完全麻痺を呈した神経線維腫症1型の1例  
東京女子医科大学東医療センター 整形外科 小西真紅子(こにしべにこ)、山本直也、玉木亮
4. 脊髄膜腫術後の髄液漏に対して再手術を要した1症例  
弘前大学 整形外科 和田簡一郎(わだかんいちろう)、熊谷玄太郎、田中直、浅利享、石橋恭之
5. Staged resection for ependymoma-two case report- (計画的二期手術にて摘出した上衣腫の二例)  
浜松医科大学 整形外科 Derek Ben Jabines、長谷川智彦、大和雄、吉田剛、坂野友啓、有馬秀幸、大江慎、松山幸弘
6. 食道癌・下咽頭がんの放射線・外科治療後に晩期に生じた頚椎骨壊死による後弯症を呈した1例  
東京医科歯科大学 整形外科 平井高志(ひらいたかし)、吉井俊貴、猪瀬弘之、湯浅将人、小沼博明  
元吉貴之、田中寛来、高橋拓也、大川淳
7. 上位胸椎部の半椎により麻痺を生じた先天性後側弯症の1例  
慶應義塾大学医学部 整形外科学教室 松本雄暉(まつもとゆうき)、渡辺航太、鈴木悟士、辻収彦、名越慈人、岡田英次郎、八木満、中村雅也、松本守雄
8. 強直性脊椎炎患者に合併した胸髄症の1例  
昭和大学藤が丘病院 國枝裕介(くにえだゆうすけ)、瀬上和之、矢富健太郎、神崎浩二

14:30 ~ 16:10 「再手術：頸椎」 10 題

座長：榛名荘病院 群馬脊椎脊髄病センター 登田 尚史、群馬大学 整形外科 三枝 徳栄

9. 椎弓形成術後症例に対する再手術の検討

千葉大学大学院医学研究院 整形外科 牧聡（まきさとし）、古矢丈雄、宮本卓弥、沖松翔、志賀康浩  
稲毛一秀、折田純久、大鳥精司

10. 拙劣な頸椎椎弓形成術に対する再手術の経験

<sup>1)</sup>神戸労災病院 整形外科、<sup>2)</sup>真星病院 金山修一（かねやましゅういち）<sup>1)</sup>、金村在哲<sup>1)</sup>、平田裕亮<sup>1)</sup>、鷺見正敏<sup>2)</sup>

11. 椎弓形成術後に黄色靭帯石灰化症により脊髄症が再発した一例

佐久総合病院 整形外科 須藤祐伴（すどうゆうすけ）、福島和之

12. 椎弓形成術後に後方固定術を行った頸椎後縦靭帯骨化症 3 例

兵庫医科大学 整形外科 楠山一樹（くすやまかずき）、圓尾圭史、有住文博、木島和也、橘俊哉

13. 頸椎症性脊髄症に対する頸椎椎弓形成術術後後弯化のあらたな術前予測因子について

済生会川口総合病院 整形外科 榊経平（さかききょうへい）、新井嘉容、坂井顕一郎、鳥越一郎、友利正樹、  
松倉遊、小柳津卓哉

14. 再手術を繰り返した首下がり病の 1 例

済生会横浜市東部病院 整形外科 末松悠（すえまつゆう）、福田健太郎、藤井武

15. 頸椎前方除圧固定術後プレートのスクリューの折損を生じた 5 例

<sup>1)</sup>九段坂病院整形外科、<sup>2)</sup>東京医科歯科大学医学部整形外科 進藤重雄（しんどうしげお）<sup>1)</sup>、水野広一<sup>1)</sup>、  
大谷和之<sup>1)</sup>、草野和生<sup>1)</sup>、山田剛史<sup>1)</sup>、牛尾修太<sup>1)</sup>、中井修<sup>1)</sup>、大川淳<sup>2)</sup>

16. 頸椎前方固定術後に持続する上肢痛に椎間孔拡大術を行った 1 例

兵庫医科大学 整形外科 山浦 鉄人（やまうらてつと）、圓尾圭史、有住文博、楠山一樹、橘俊哉

17. 神経障害のない頸椎損傷術後に脊髄不全麻痺が生じた症例

虎の門病院 整形外科 野間未知多（のまみちた）、安野雅統、福島成欣

18. 小児外傷性軸椎すべりの 1 例

千葉大学大学院 医学研究院 整形外科 古矢丈雄（ふるやたけお）、牧聡、宮本卓弥、沖松翔、大鳥精司

16:10 ~ 16:20 Coffee break

16:20 ~ 16:30 製品紹介 エーザイ株式会社

16:30 ～ 17:00 ミニレクチャー

座長：群馬大学 整形外科 筑田 博隆

「 圧迫性脊髄症；私のモヤモヤ（運動ニューロン評価から神経障害性疼痛まで） 」  
榛名荘病院 群馬脊椎脊髄病センター センター長 清水 敬親 先生

17:00 ～ 18:20 「再手術：腰椎」 8題

座長：榛名荘病院 群馬脊椎脊髄病センター 井野 正剛、群馬大学 整形外科 飯塚 陽一

19. 腰椎除圧術後に遅発性馬尾嵌頓を生じた2例

JR 広島病院整形外科 藤岡悠樹（ふじおかゆうき）、佐々木正修、須賀紀文、木戸佑基、中村精吾、村尾保

20. 巨大腰椎椎間板ヘルニア術後、健側に足部背屈障害を生じた1例

JCHO 玉造病院 脊椎外科センター 神庭悠介（かんばんゆうすけ）、榊田崇一郎、千束福司

21. 脊柱後弯症矯正術後に人工股関節再置換術を要した1例

榛名荘病院 群馬脊椎脊髄病センター 田内徹（たのうちにてつ）、清水敬親、井野正剛、登田尚史、小野真稔  
伊藤嘉奈子、笛木敬介

22. 多数回手術を要した、いわゆる Far-out syndrome の2例

十和田市立中央病院 整形外科 板橋泰斗（いたばしただいと）、鈴木雅博、飯尾浩平、太田健人

23. 第3腰椎骨粗鬆症性椎体骨折に対する2期的short再建予定が3ヶ月の間に第8胸椎固定まで至った1例

～後悔などあろうはずしかありません～

順天堂静岡病院 糸井陽（いとあきら）

24. プーメランケージの前方逸脱を起こした一例

群馬大学 整形外科 三森江里（みつもりえり）、石綿翔、角田大介、高澤英嗣、三枝徳栄、飯塚陽一、筑田博隆

25. 仙骨部奇形腫摘出、係留脊髄解離術後に巨大偽性髄膜瘤を形成したクラリーノ症候群の姉妹例

東京医科歯科大学 整形外科 吉井俊貴（よしいとしか）、平井高志、湯浅将人、猪瀬弘之、大川淳

26. Infected Charcot spine の治療法

防衛医科大学校 整形外科講座 今林英明（いまばやしひであき）、寺本裕明、今井大輔、佐々木大雄、  
天野翔太、脇田晃充、石坂隆博、井上雅博、田口瑛子、松橋優介、三宅敦、千葉一裕

18:20 ～ 閉会の辞

圧迫性脊髄症研究会 代表世話人

東京医科歯科大学 大川 淳

共催 圧迫性脊髄症研究会

エーザイ株式会社